

今週の 花緑

2020. 3. 13 現在



① ナノハナ

(アブラナ科)

場所: 国際庭園

茎先に黄色の十字状花をたくさんつける。また、「菜っ葉の花」からナノハナと転じて名づけられた。



② ヒヤシンス

(ヒヤシンス科)

場所: 百華園・花の美術館

太い茎の先に総状に花をつけ、香りがとてもよく、見た目も香りも楽しめ、小さな花と甘い香りが魅力的な春の花です。



③ ベニバスマモ

(モクセイ科)

場所: 百華園・国際庭園

桜の花に似ていて、桜より早く開花し、赤紫の葉と薄いピンク色の花のコントラストが美しい花を咲かせる。



④ ローズマリー

(シソ科)

場所: 国際庭園

線状の葉っぱは光沢があり、集中力・記憶力を高めるハーブの一つとして、リフレッシュやリラックス効果が高いのが特徴。



⑤ ウンナンオウバイ

(モクセイ科)

場所: 国際庭園

分枝して枝垂れた枝の葉の付け根に、花径 3~4cm 程度の花を咲かせ、最盛期には株を覆うように無数の花が開花する。



⑥ ベニバナトキワマンサク

(マンサク科)

場所: 国際庭園・百華園

一年中葉を青々と茂らせる常緑樹で、春になるとリボンのような細長い花を咲かせるのが特徴。



⑦ ユキヤナギ“フジノピンキー”

(バラ科)

場所: 花木園・百華園

花卉の外側がピンク、内側が白色で、蕾のとき最も濃いピンク、開花すると白とピンクが混じって薄いピンクに見えるのが特徴。



©のたね



HAMANAKO GARDEN PARK 浜名湖ガーデンパーク